日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の１　Tel/Fax　52-3097　2016年３月27日（日）1522号　（1）

民報 ゆうばり

3月議会でくまがい市議質問

『戦争法廃止』統一署名地域一丸で取り組む！

子育て世代の応援と夕張高校の魅力化を・債務軽減・期間短縮を

3月4日から18日まで開催された第1回定例議会でのくまがい桂子議員の大綱的な質問・意見の一部をご紹介します。

◆　◆　◆

子育て世代の応援と夕張高校の魅力化を

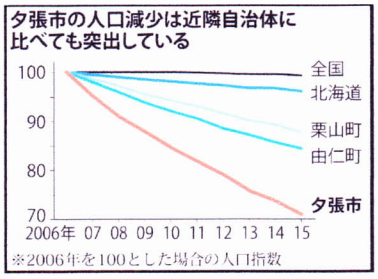
人口減が止まらず、この10年で3割も減っている。子育て世代応援の政策充実を。その一環として、沼ノ沢地域に予定されている児童館的な施設について、ぜひとも他の地域にも開設していただきたい。

また、夕張高校の受験者数を見ると、中学校を卒業した（39人中19人）と約半分の子どもたちが、市外の高校に進学。

中には家族ごと、その進学先の町に転居されるご家庭もあると聞く。市外の高校へ出ていく子たちは、「専門コースや部活、新たな人間関係を求めて、近隣の町や札幌など他の高校へ」と向かう。現夕張での、数の少ない子どもたちの人間関係を豊かにするには、移住の促進は当然、他の町から入学したくなるような専門コースや留学生の募集なども効果的ではないか。

たとえば今、絶対的に不足している看護師を養成する「衛生看護」や、札幌や地元でも働きやすい「観光ビジネス」、夕張のスキー場や自然を生かした「スポーツ・アウトドア」等の魅力的なコースや「日本語コース」を創設し、遠隔授業も取り入れて、必要な教師の採用を進め、学生寮なども整備すれば、他市町村や外国からも高校生を呼び込むことができる。更に「市内で数年働けば返済不要の奨学金」があればもっと魅力的になる。

相当な予算はかかると思うが、そのくらいのことをやらなければ、夕張の人口減少はあっという間に雪崩現象を起こすような、ギリギリのところまで来ているのではないか。



看護師養成・観光ビジネス・スポーツ等

歴代の総務大臣が認めた国の責任

これまでの国と夕張の歴史的な経過の中で、歴代の総務大臣がそれぞれの言葉で国の責任を認めてきた。この10年夕張はきちんと責任を果たしてきたのだから、**今度は国が答える番。債務の圧縮や、期間の短縮など柔軟に考える時期ではないか。**財政再建化法の第21条には、「国及び他の地方公共団体は、財政再生計画を円滑に実施することができるよう配慮する」と書かれている。夕張の現状は、この規定に基づく精神を国が発揮する時ではないか。

再生方策検討委員会の市民懇談会の中では、「**18年も罰金を払うほど、市民は悪いことをしたのか？**」という意見も出された。また、故郷や住まいを聞かれ、胸を張って「夕張です」と答えられない子どもたちもいる。今まさに、市民の誇りの回復、自治権の回復が、どうしても必要です。

破綻から十年―希望の持てるまちづくりを

安倍政権では、1億総活躍社会を目標とし、地方創性を掲げている。ぜひとも夕張市民が安心して、胸を張って活躍できるよう、**歴代の総務大臣の「夕張問題は国にも責任があった」との思い**を、破綻から10年の節目にしっかりと反映させて、再生計画を抜本的に見直し「希望の持てるまちづくり」のため、債務の軽減・期間短縮、自治権の回復に向けて、市長の更なる奮闘を期待して質問を終わります。

戦争法は廃止！2000万統一署名市内1157筆に！

憲法を守りいかす夕張憲法共同センターは、昨年の10月29日から、17回の署名統一・地域行動を実施しました。

参加延べ人数は、69人（1回平均4.1人）、署名数合計は、474筆（1回平均27.9筆）になります。

雪や強風の日もあり、厳しい冬の季節ですが、参加者は、「戦争法廃止」を訴え、根気強く粘り強く取り組んでいます。

これまでの夕張の署名到達数は、1102筆（目標の64%）に及んでいます。

あと1ケ月少しですが、目標の1800めざして、地域一丸となって取り組んでいます。

★日本共産党　夕張市委員会へのご連絡・ご相談はお気軽にどうぞ～　Tel/Fax：0123-52-3097　e-mail：jcp.yubari@gmail.com

2016年国際女性デー「夕張集会」

3月8日(火)10時から開催され、「日本の青空」が上映されました。

改憲派が日本国憲法はアメリカ押し付けだとする主張がある中、本当にそうなのかを解き明かす内容でした。

パンと参政権を求めて始まった国際女性デーですが、日本の女性に参政権が与えられて70年。映画の中では、草案に参政権が盛り込まれていく過程も描かれていました。

夕労連議長筒井勇治さんからは来賓の挨拶を、市長からはメッセージが寄せられていました。

くずさんの夕張歴史散歩(44)

明治40年7月　夕張坑夫たちのたたかい　⑧

15日からつづく同盟休業の中で、代表（惣代）が最も気を使ったのは、警察権力が介入弾圧を狙っている中で、いかに山元での統制を保ち、血気にはやる坑夫を抑える暴動化を防ぐことでした。

ついに挑発にのる

しかし、遂に我慢の糸が切れてしまいます。

焦った第一鉱の一番坑と第一新坑の一部坑夫たちは、第二斜坑の同盟休業に俺たちも参加しようとし、現場の枝小頭と小競り合いを起こしてしまいます。

坑夫たちの勢いに押され枝小頭たちは、詰所に逃げ込み挑発します。これを追って「出てこいと」ばかりに詰所を打ち壊してしまいます。

待ってましたとばかり、巡視（会社雇いの私設警戒）たちが手当たり次第に坑夫を捕らえる。これを取り返そうとする坑夫たち。ますます騒ぎは拡がり、鉱務所などまでが打ち壊されてしまいます。

急を聞いて坑夫惣代たちが静止・説得に駆けつけたのですが、この惣代も巻き込んで捕えられる。惣代を取り返そうと騒ぎはさらに拡大、遂に会社倉庫に放火するなど大混乱は次ぎの日までつづきます。

警官隊出動

手際よくも翌22日、岩見沢署に待機していた多数の警官隊が出動。一斉検挙が行なわれ、騒動は力ずくで鎮圧されてしまいます。

ところが、坑夫たちは「総代をかえせ」と釈放を迫り、「返さねば全山入坑せず」と入坑拒否に打って出ました。すでに入坑していた坑夫もこの事態を聞き出坑してしまいます。

こうして夕張鉱の全機能は、完全にストップしてしまいました。

（つづく）

原発事故がなければ

いわぶち　友「かける記」
日本共産党福島県委員会常任委員
（参議院比例予定候補）「北海道・東北」
いわぶち　友

東日本大震災津波と東京電力福島第一原発事故から五年が経ちました。犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、みなさんのご支援に心から感謝申し上げます。

比例候補になり初めて岩手県と宮城県の津波被災地を訪れることができました。「津波で助かった命だからこれ以上の犠牲を出さない」とみなさんが頑張っています。福島県では加えて原発事故と放射能、国と東京電力とたたかってきました。

三月十一日、南相馬市原町の原発ゼロ金曜行動に参加しました。南相馬市には原発事故で避難が続く小高、かつて避難地域に指定されていた原町、それ以外の鹿島があります。同じ市民が分断されました。三月十一日だからこそ原発ゼロと声をあげたいという思い。目の前を通る車から次々に手が振られます。

原発事故さえなければ失うことのなかった命があり、当たり前のくらしがあります。この五年間、一人一人が経験してきたこと、思いのどれもが原発ゼロの十分な理由になります。これは福島県だけの話ではないと思います。福島原発事故をきっかけに原発ゼロの運動が大きく広がり、原発がなくても大丈夫だということを証明しました。

大津地裁が高浜原発三、四号機の運転差し止めを決めましたが、国民の運動が政治を動かしています。原発ゼロを政治決断し、福島切り捨てをやめさせて復興を進めるためには安倍政権を倒さなくてはなりません。命がかかった参議院選挙です。必ず勝たなければとあらためて決意しています。